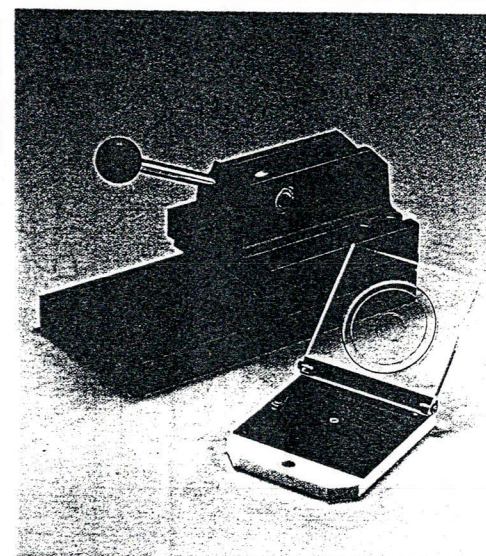
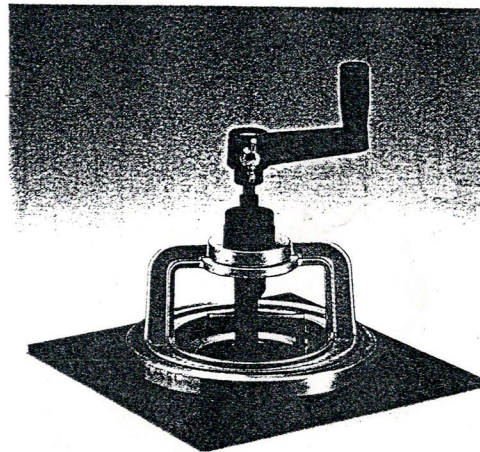
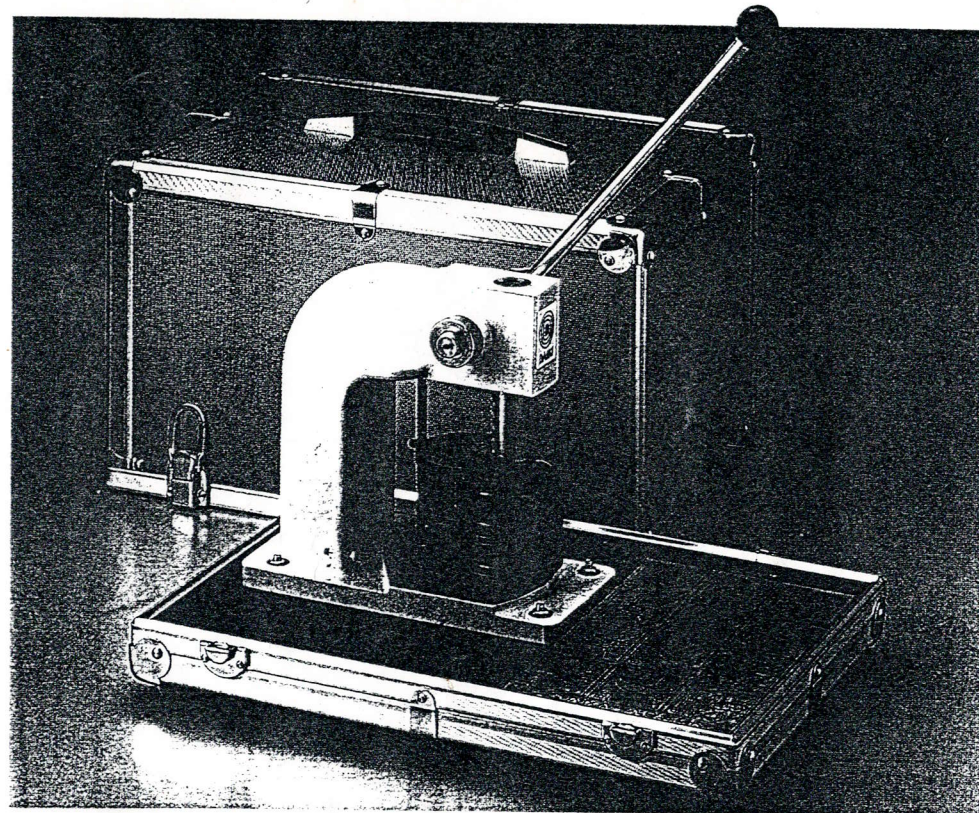


ご使用前に必ず
お読み下さい

HOW TO USE A BADGE MACHINE

VOL.1
基本編

バッジマシンの操作方法



要返却

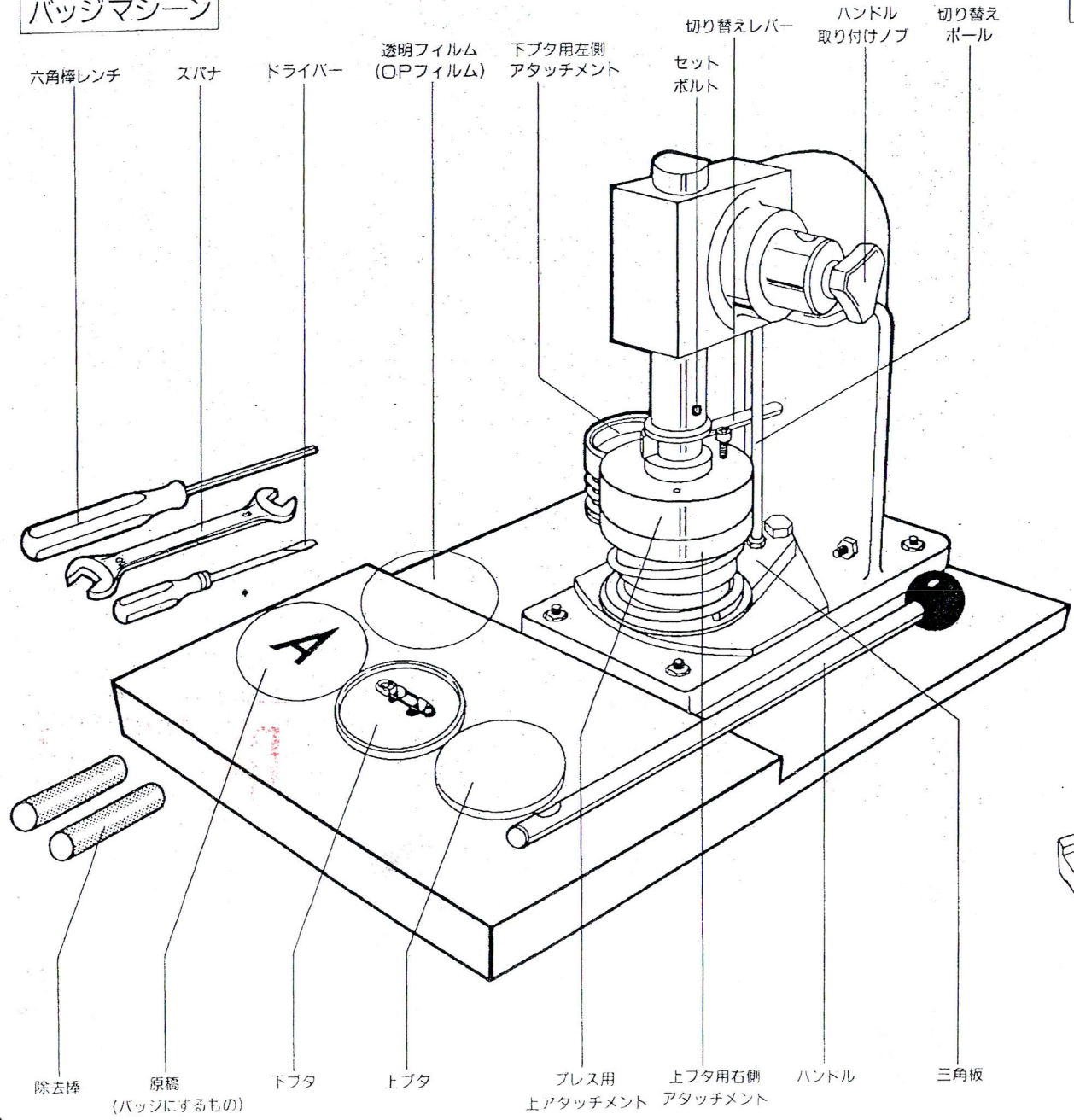
〒500-8358 岐阜市六条南2-16
レントオール岐阜
TEL 058-276-6785
FAX 058-273-1060

ご使用前に
必ずお読み下さい!

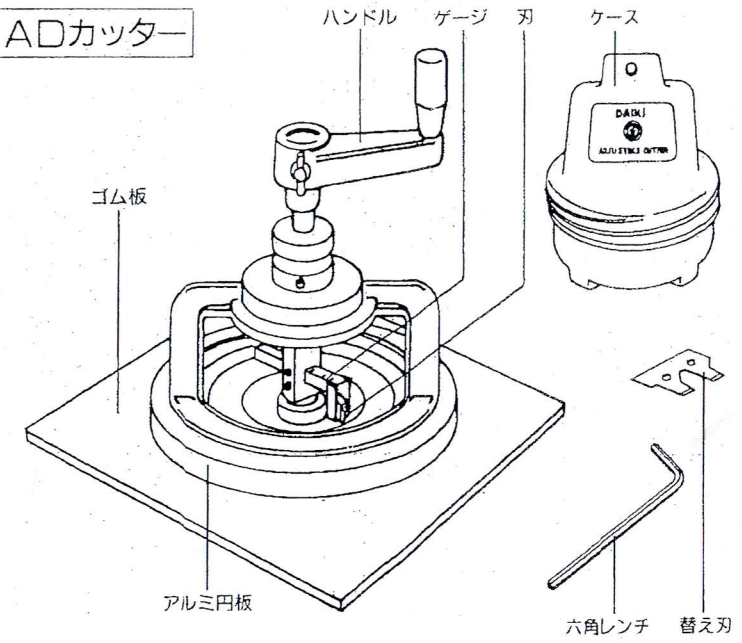
DAIKI

各部の名称

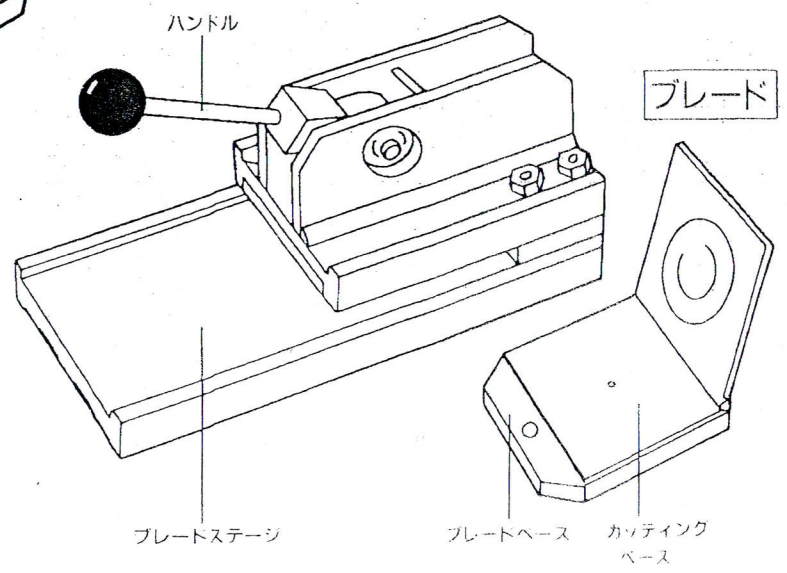
バッジマシン



ADカッター



ライトカッター



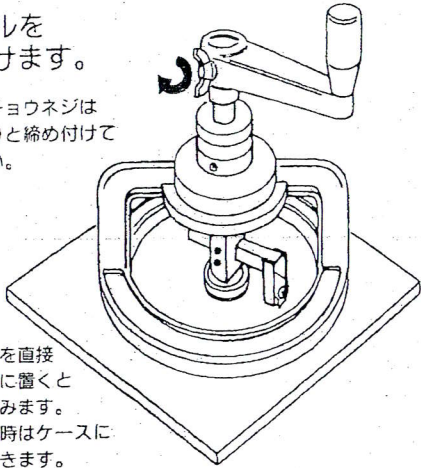
操作手順

写真やイラストを丸くカットします。

ADカッターの場合

ハンドルを取り付けます。

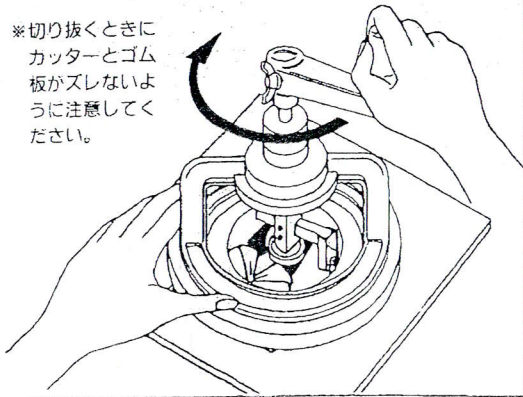
※この時ジョウネジはしっかりと締め付けてください。



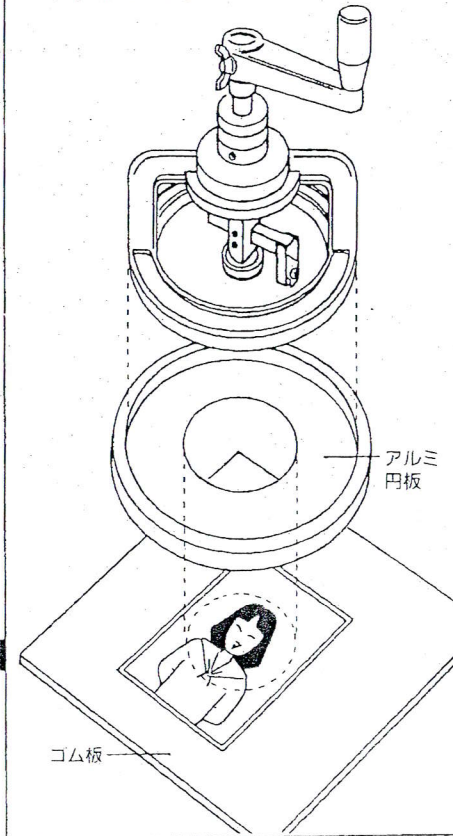
※カッターを直接机のうえに置くと刃先が傷みます。使わない時はケースに入れておきます。

ハンドルを回してカットします。

※切り抜くときにカッターとゴム板がズレないように注意してください。

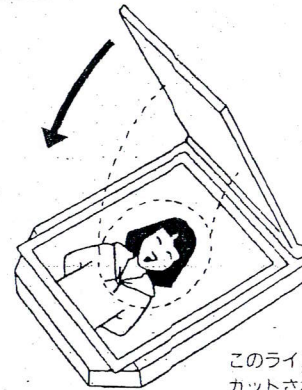


写真の上にアルミ円板を乗せ、トリミングを決め、本体をセットします。



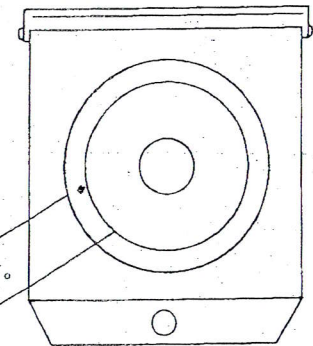
ライトカッターの場合

トリミングを決め、ブレードのフタを開めます。

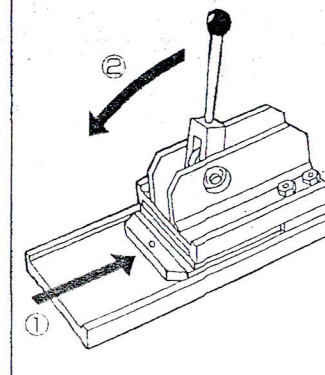


このラインでカットされます。

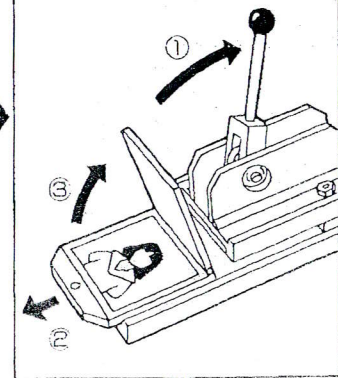
このラインがバジの仕上がりサイズです。



ブレードをライトカッター本体にセットし、ハンドルを降ろします。



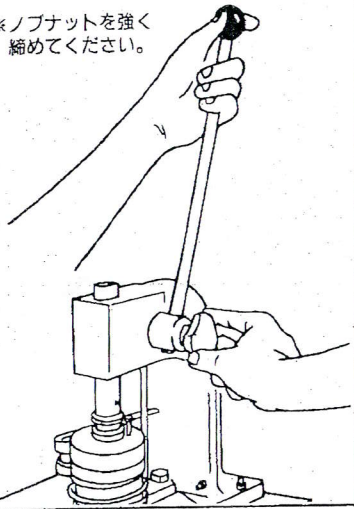
ハンドルを戻し、ブレードを取り出します。



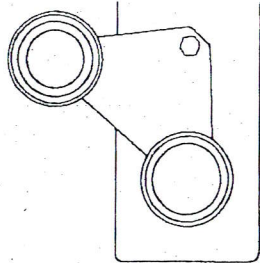
バッジマシンを使い、上ボタンをプレスします。

ハンドルを取り付けます。

※ノブナットを強く締めてください。

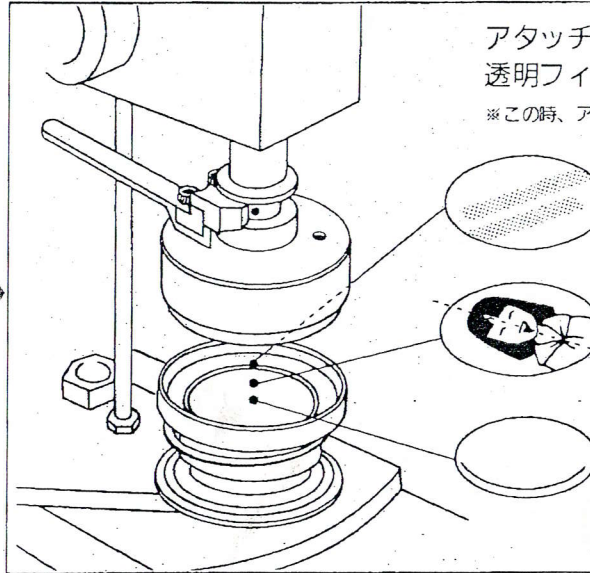


右側のアタッチメント (上ボタン用) がプレス用上アタッチメントの真下にくるようにセットします。



アタッチメントに、上ボタン、カットした写真、透明フィルムの順に乗せます。

※この時、アタッチメントの枠からずれないようにセットしてください。



③透明フィルム(OPフィルム)

※一枚だけセットします。

②カットした写真

※写真は表面を上にしてセット。

※Aの方向から見て(機械を正面から見て)、まっすぐになるようにセット。

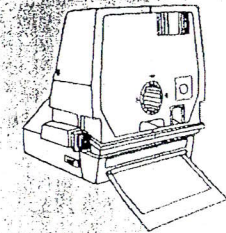
①上ボタン

お皿を伏せるような形でセット。

ご注意ください!

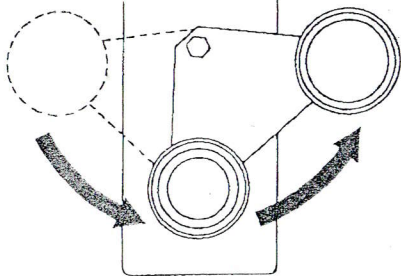
ベックフォトマジックシステムなどインスタントカメラを使用した場合、写真の種類により、透明フィルムを使用しないこともあります。

※別冊子応用編の3ページ参照ください。

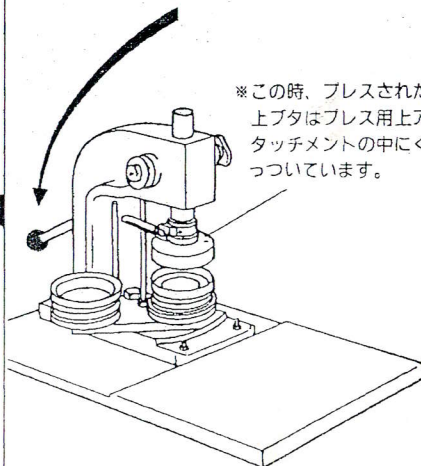


下ボタン用左側アタッチメントが、プレス用上アタッチメントの真下にくるようにセットします。

※アタッチメントは左から右へ止まるまでスライドさせてください。



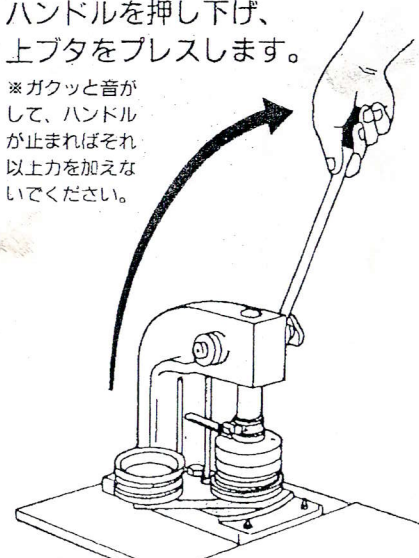
ハンドルを戻します。



※この時、プレスされた上ボタンはプレス用上アタッチメントの中にくっついています。

ハンドルを押し下げ、上ボタンをプレスします。

※ガクッと音がして、ハンドルが止まればそれ以上力を加えないでください。

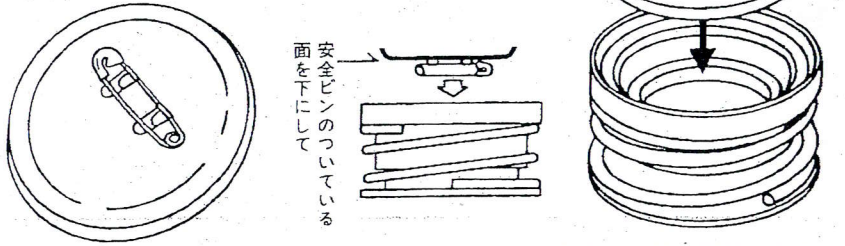


下ボタンをプレスします。(パーツによって下ボタンは異なります)

バッジの場合

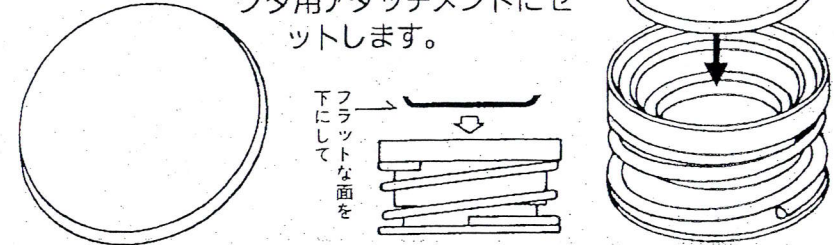
バッジ用の下ボタン(安全ピン付)を下ボタン用左側アタッチメントにセットします。

※31mmφ、25mmφはバッジを作製した後で安全ピンを取り付けます。



キーホルダー、バッグホルダー、フォトスタンドの場合

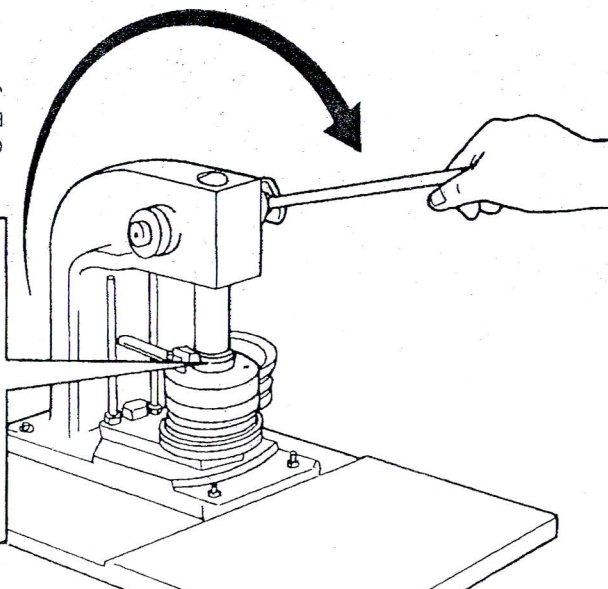
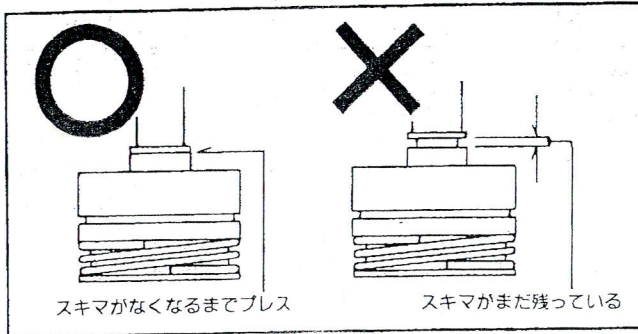
キーホルダー、バッグホルダー、フォトスタンド用の下ボタン(裏面がフラットなもの)を下ボタン用アタッチメントにセットします。



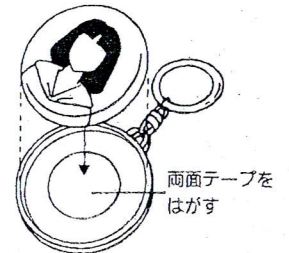
ハンドルを押し下げ、プレスします。

※この時、途中で止めずに最後までプレスしてください。(下図参照)

※小学一年生程度の力で簡単にバッジ等はできますので、大人の方は体重をかけてプレスするとか、力をかけすぎないようにしてください。ハンドルが曲ったり、アルミフレーム本体にひびがはいり、本体交換が必要になりますので注意してください。

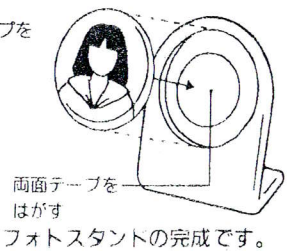


バッジの完成です。



キーホルダーの完成です。

バッグホルダーの完成です。

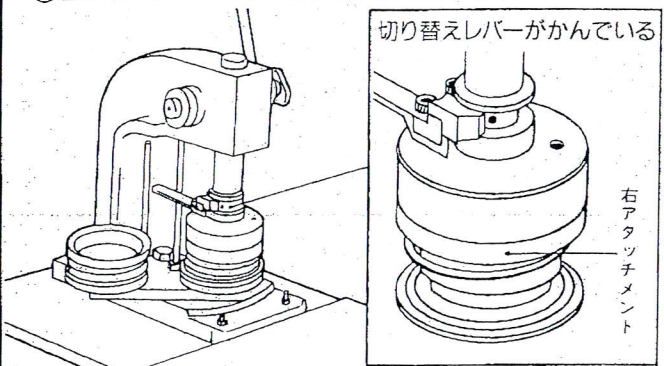


フォトスタンドの完成です。

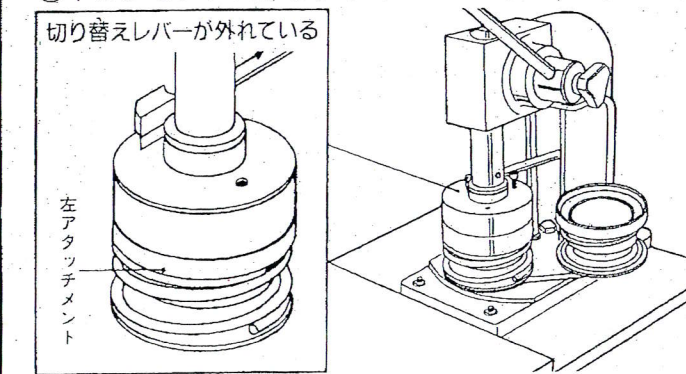
故障かな?と思ったら(上手くプレスできない)

アタッチメントが正しくセットされているかをチェック。

①上ボタンをプレスする状態でチェック。

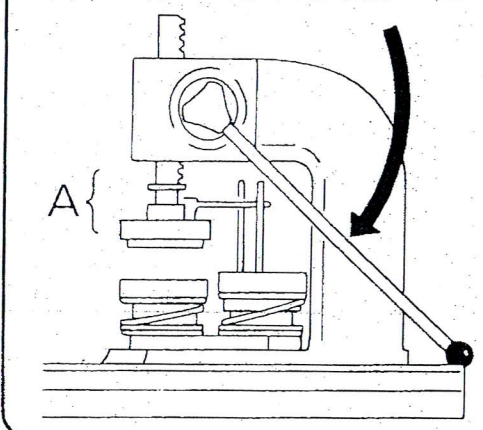


②下ボタンをプレスする状態でチェック。

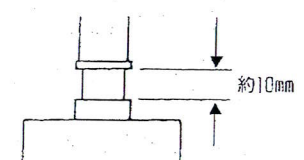


上図のようになっていなければセットし直します。

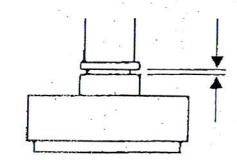
透明フィルム等がプレス用上アタッチメントに詰まっているかをチェック。



ハンドルを戻し、プレス用上アタッチメントを上げた状態でA部をチェックします。



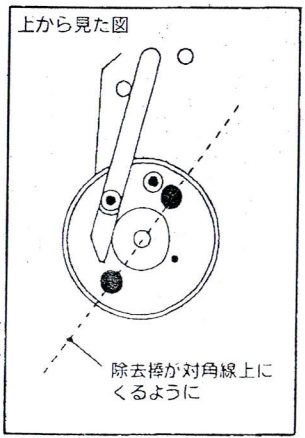
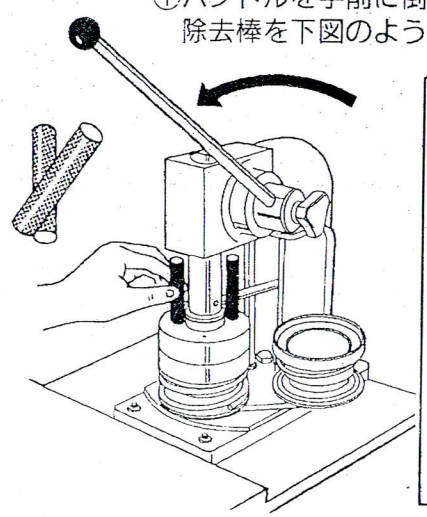
◆正常な時
このスキマが約10mmの間隔



◆詰まっている時
スキマがない。もしくは10mm以下である

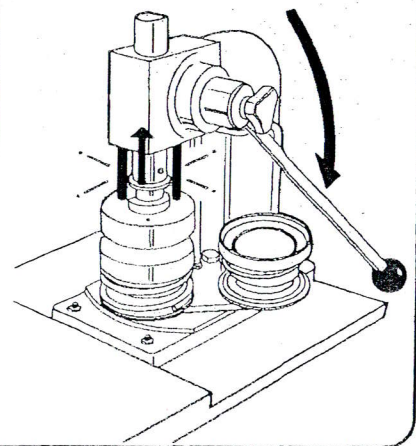
詰まっている透明フィルム等を取り除きます。

①ハンドルを手前に倒し、除去棒を下図のように置きます。



除去棒が対角線にくるように

②ハンドルを戻します。これで詰まっていた透明フィルム等が取り除けます。

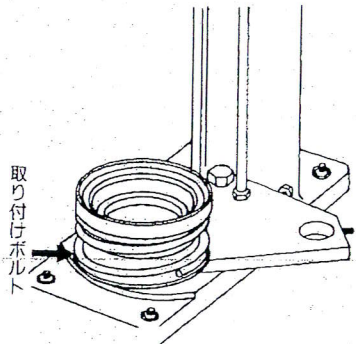


次ページ「アタッチメントの交換方法」の③～⑦の手順でセットし直します。

アタッチメントの交換方法

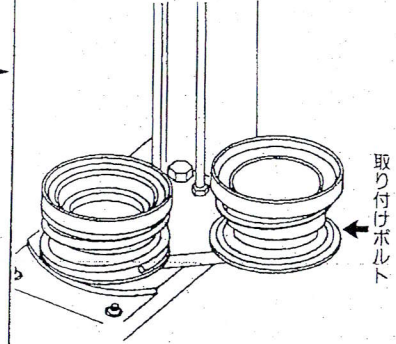
①下ボタン用左側アタッチメント
(くぼみの深い方)を左側に取り
付けます。

※取り付けボルトをしめて下さい。



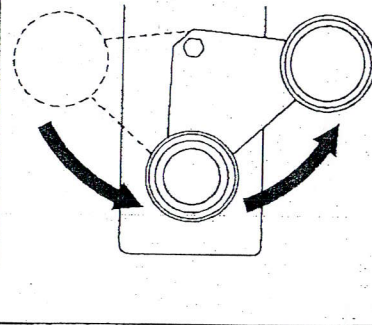
②上ボタン用右側アタッチメント
を右側に取り付けます。

※取り付けボルトをしめて下さい。

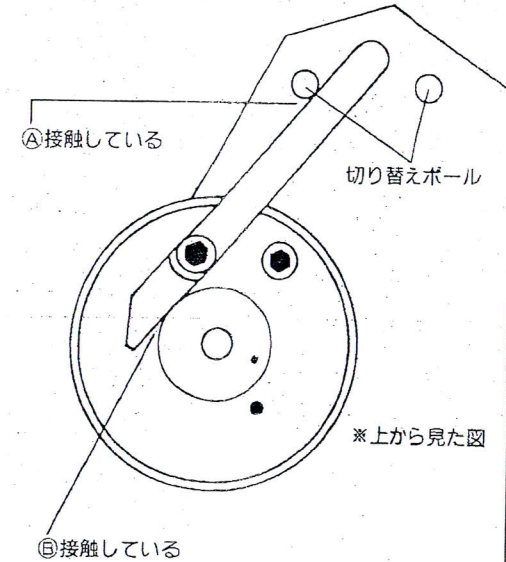


③ハンドルを後に倒した状態で
下ボタン用左側アタッチメント
が中央にくるように右側にス
ライドします。

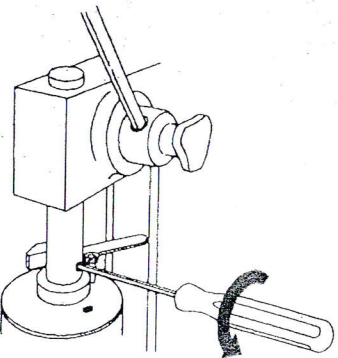
※止まるまでスライドして下さい。



④下ボタン用左側アタッチメントの上に、プ
レス用上アタッチメントを乗せ、図の位置に
セットします。



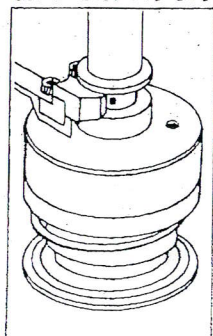
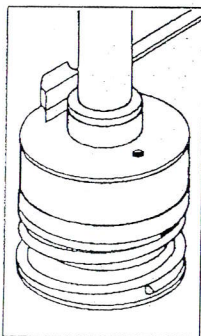
⑦切り替えレバーが⑥図のよ
うにならない時は、セット
ボルトをゆるめて④～⑤の
作業を繰り返します。



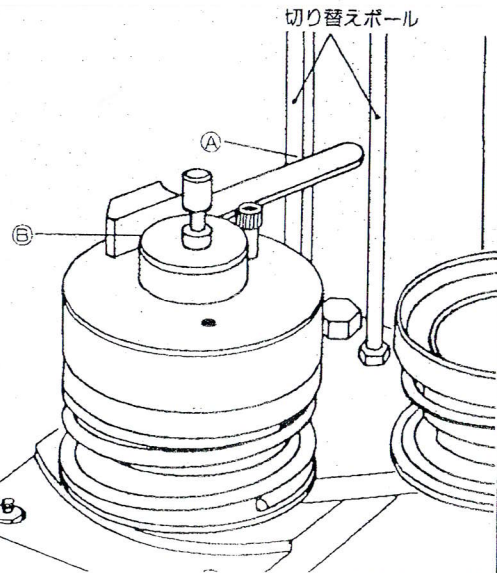
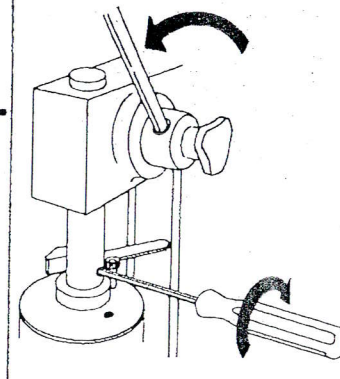
⑥下図のようにになっていることを確認
します。

下ボタンをプレスする時

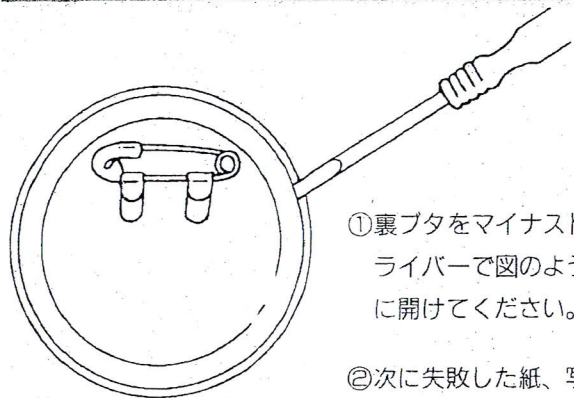
上ボタンをプレスする時



⑤ハンドルをおろし、六角
棒レンチでセットボルト
をしめます。



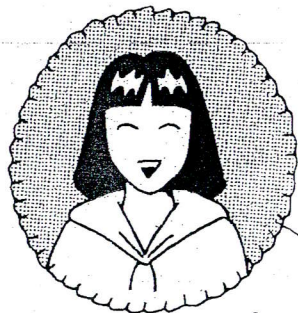
バッジ作製に失敗したときは



①裏フタをマイナスドライバーで図のように開けてください。

②次に失敗した紙、写真などのシワをよく伸ばしてください。そして最初からバッジ作りにかかってください。

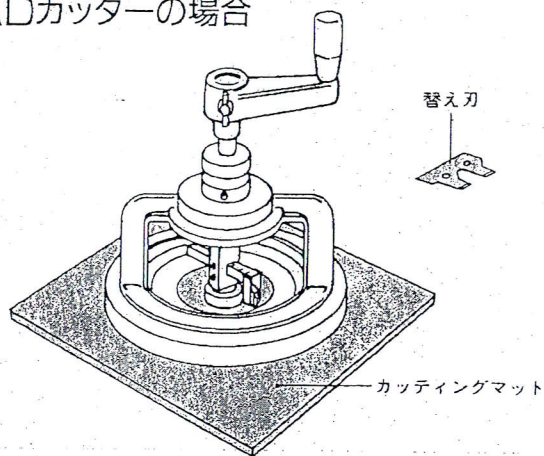
※失敗したパーツは使用しないでください。



このシワをよく伸ばしてください。

交換品(消耗品)について

ADカッターの場合



カッティングマット

材質：ネオプレンゴム

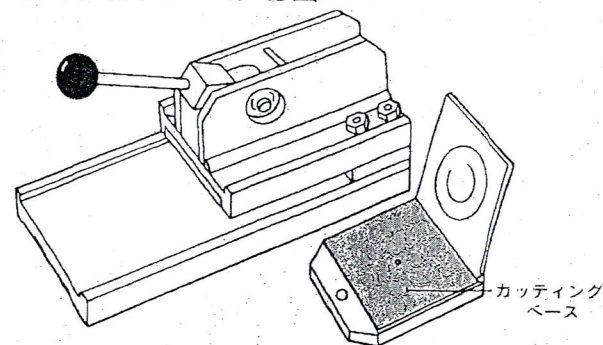
販売しているところ：DIYショップ等。

カッターの替え刃

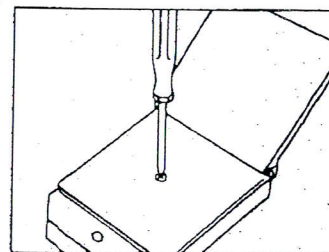
オルファ(岡田工業)のコンパスカッターSの刃を使用。

販売しているところ：DIYショップ等。

ライトカッターの場合



☆写真などのキレが悪くなった場合はブレードのカッティングベースを交換して下さい。



中心のネジを十字ドライバーで外し、カッティングベースを交換して下さい。

 **DAIKI**
株式会社ダイキ

印刷時の注意点

<貸出用>

●紙(紙厚)の選択

●75・65・54mmφのバッジを作る場合

アートポスト紙 四ノ六判(788×1,091mm).....160kg~180kg
 菊判(639×939mm).....111kg~125kg

●40・31・25mmφのバッジを作る場合

アート・コート紙 四ノ六判(788×1,091mm).....135kg
 菊判(639×939mm).....93.5kg

上記の紙を使用していただければきれいなバッジができます。

●版下・印刷について

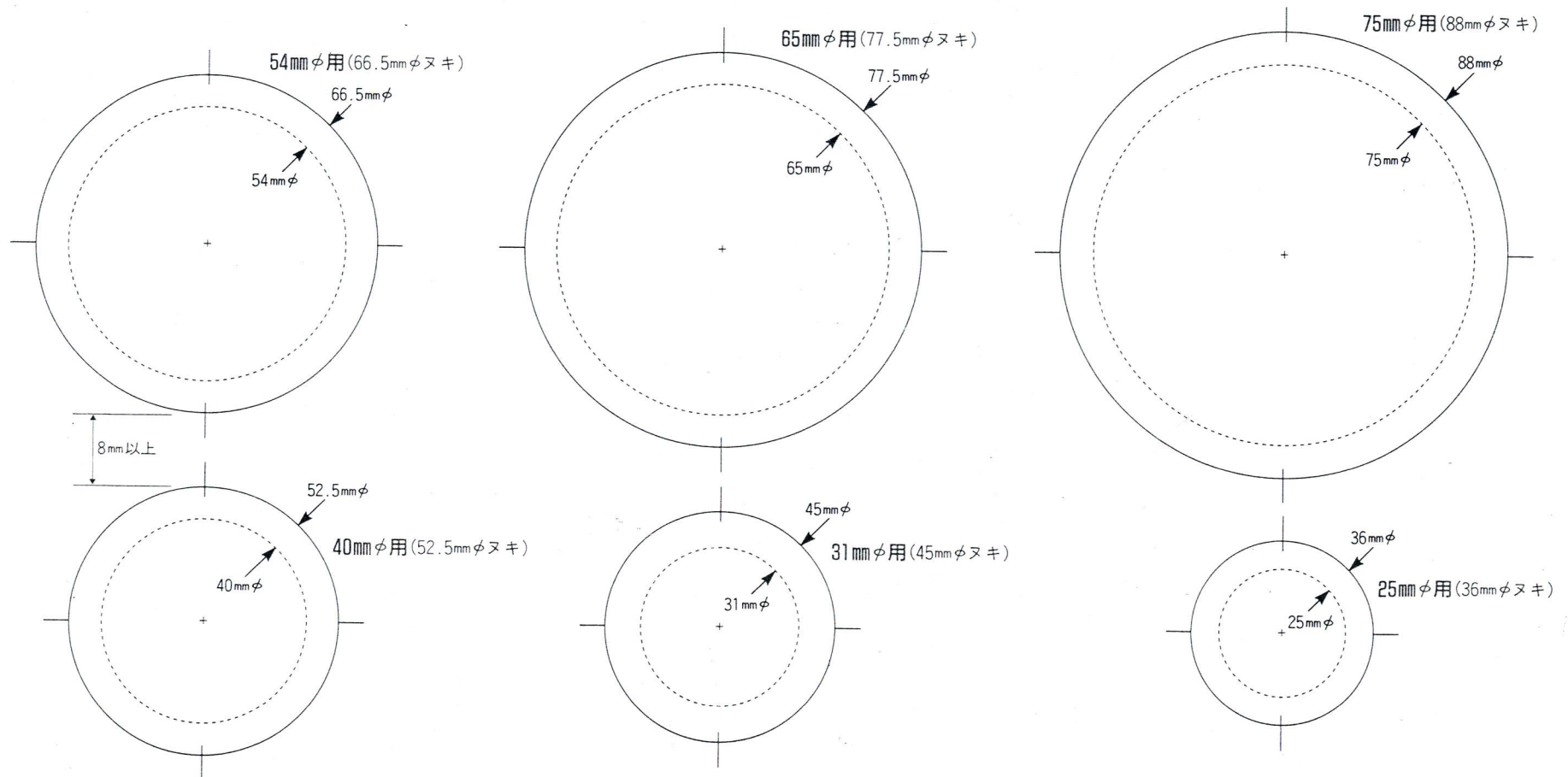
①バッジの印刷寸法(抜き寸法)

バッジを作る場合実際のバッジ寸法のほかに巻しろ寸法がプラスされます。(下図参照)

②下図のようにバッジの外円(実線)と外円(実線)との間隔を最低8mm以上とってください。

③下図のように外円(実線)の天地のところに外円(実線)から内へ2mm程トンボ(天地)の線を上下に入れてください。*後にバッジを作る時の基準となる線ですので、必ず入れて下さい。

④印刷する場合には外円は実線で印刷してください。紙を抜く時の基準となります。(下図の内円(点線)は印刷しないでください)



アタッチメントのセット方法

